

小論文

（100点 60分）

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 問題冊子は1冊3ページ、解答冊子は1冊2ページです。
3. 試験開始後、問題冊子や解答冊子に落丁・乱丁がある場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答冊子は表紙と各ページにある所定の欄のそれぞれに受験番号と氏名を記入してください。
5. 試験終了後、解答冊子を回収するので、指示があるまで退席しないでください。
6. 問題冊子は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問1から問7に答えなさい。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

この部分については、著作権の処理が未完了のため、公開できません。

(出典 門脇厚司 『社会力を育てる―新しい「学び」の構想』 岩波新書、二〇一〇年、六十二～六十六頁 一部改変)

問 1 傍線部①から⑤のカタカナを漢字で書きなさい。(各三点)

問 2 傍線部 A・F の意味に一番近い言葉を選び、それぞれ①～④の数字で答えなさい。(各五点)

A

- ① 相互扶助
② 一致協力

- ③ 連帯責任
④ 共同戦線

F

- ① 率直
② 簡潔
③ 単純
④ 端正

問3 傍線部Bで筆者は
[]と述べている。その理由について説明しな
さい。(十点)

問4 傍線部Cの
[]を決めるものは何か、文中から四文字を抜き出しなさい。(十点)

問5 傍線部Dの「1」と「2」に入る適切な語句を文中から抜き出しなさい。(各五点)

問6 傍線部Eで筆者が述べている
[]とはどのようなことか、文中の表現を用いて、六十五字以上九十字
以内で説明しなさい。(二十点)

問7 傍線部Gの
[]社会をつくるために、私たちはどのような行動をすべきか、あな
たの考えを、本文の内容を踏まえて百八十字以上二百字以内で述べなさい。(二十五点)

問題文中の [] 部分は、本文からの引用部分につき、公開できません。